

最終電柱位置図 48号地は変更

造成計画平面図
給水計画平面図
排水計画平面図

盛土(良質花崗土) S=1/300 (A1)
切土 S=1/600 (A3)

凡例

○	図地番号
○	図地面積(m ²)
○	計画高(m)
→	道路幅員VUI50 10%以上
→	土壌U0.60以下-全巻保護
○	1号マンホール(雨水)
○	1号マンホール(汚水)
○	1号マンホール(雑排水)
○	雨水貯留350-VUI50 10%以上
○	土壌U0.60以下-全巻保護
○	汚水貯留200-VUI50 10%以上
○	土壌U0.60以下-コンクリート保護
○	給水管HVP20-量水器
○	水道管仕切弁
○	洗水方向
○	申請区域

注記・7ホ-4への接続には可とう継手を使用すること。
・PSPとは、P付硬質塩化ビニル管を意味する。
・本管への接続は変換継手とする。
・各図面に示す管径は、管径の寸法を記載する。併せての住宅とする。
・関係図面の対象は最終計画から一次配管までとする。
・管の交差部は管径の大きい方を優先して表示する。
・放流水の管径は管径の寸法を記載すること。
・図面内の高さの表記は標高(P.表示)で表している。
・本管上での支管取付間隔は1m以上とする。
・管内排水管の土壌は20cm以上保護すること。
・取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心線より上とする。
・7ホ-4の管路上に接続する側溝(積り)は内径で10cm以上保護すること。
・関係図面には、構造物または金属類などで境界を示すこと。
・管径は関係図面に記載しないこと。
・グレーダ及び7ホ-4の側溝は、5.5m以上の道路はT-25、5.5m未満の道路はT-14とする。
・本計画区域に隣接する敷地所有の完了日から1年以内に関行を行う場合及び本計画区域内外の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。



※37,38,40,41,42号地以外は図面の引込線方向に支持点を設けるようお願いいたします
異なる引込方向の場合、お施主さま負担で引込ポールを建てていただく必要があります

湧出点座標リスト

点名	X座標	Y座標	Z座標
T2	142870.988	47090.642	38.25
T3	142880.248	47070.300	37.71
T4	142884.946	47030.535	37.71
T5	142886.357	46988.543	36.71
T10	142724.242	47014.713	38.25
T15	142889.029	46964.010	36.71
T16	142847.895	46956.953	37.71
J1	142862.863	46991.433	37.989
J2	142851.613	47000.912	37.841
J3	142832.072	46998.173	37.730
J3-1	142847.438	46984.184	37.646
J3-2	142847.161	46964.437	37.596
J3-3	142821.576	46983.662	37.711
J3-4	142831.164	46959.625	37.585
J4	142810.520	46998.737	37.799
J4-1	142799.886	46984.008	37.853
J4-2	142810.520	46955.057	37.785
J5	142778.112	46990.769	37.959
J5-1	142789.345	46957.965	37.822
J6	142776.497	47014.635	38.037
J7	142794.200	47024.884	37.994
J7-1	142796.163	47000.392	37.873
J7-2	142787.864	47032.453	37.997
J7-3	142787.758	47054.114	38.120
J8	142814.721	47028.436	37.917
J8-1	142821.541	47009.812	37.802
J9	142805.781	47045.181	38.017

名称	記号
電柱	●
控え線	←
架空電線類	—
引込線	—

湧出点座標リスト

点名	X座標	Y座標	Z座標
50	150	17.33	1.05
51	150	1.97	1.05
52	150	4.41	0.60
53	150	2.03	1.05
54	150	2.00	1.05
55	150	2.00	1.05
56	150	2.00	1.05
57	150	2.00	1.05
58	150	2.00	1.05
59	150	2.00	1.05
60	150	2.00	1.05
61	150	2.00	1.05
62	150	2.00	1.05
63	150	2.00	1.05
64	150	2.00	1.05
65	150	2.00	1.05
66	150	2.00	1.05
67	150	2.00	1.05
68	150	2.00	1.05
69	150	2.00	1.05
70	150	2.00	1.05

凡例

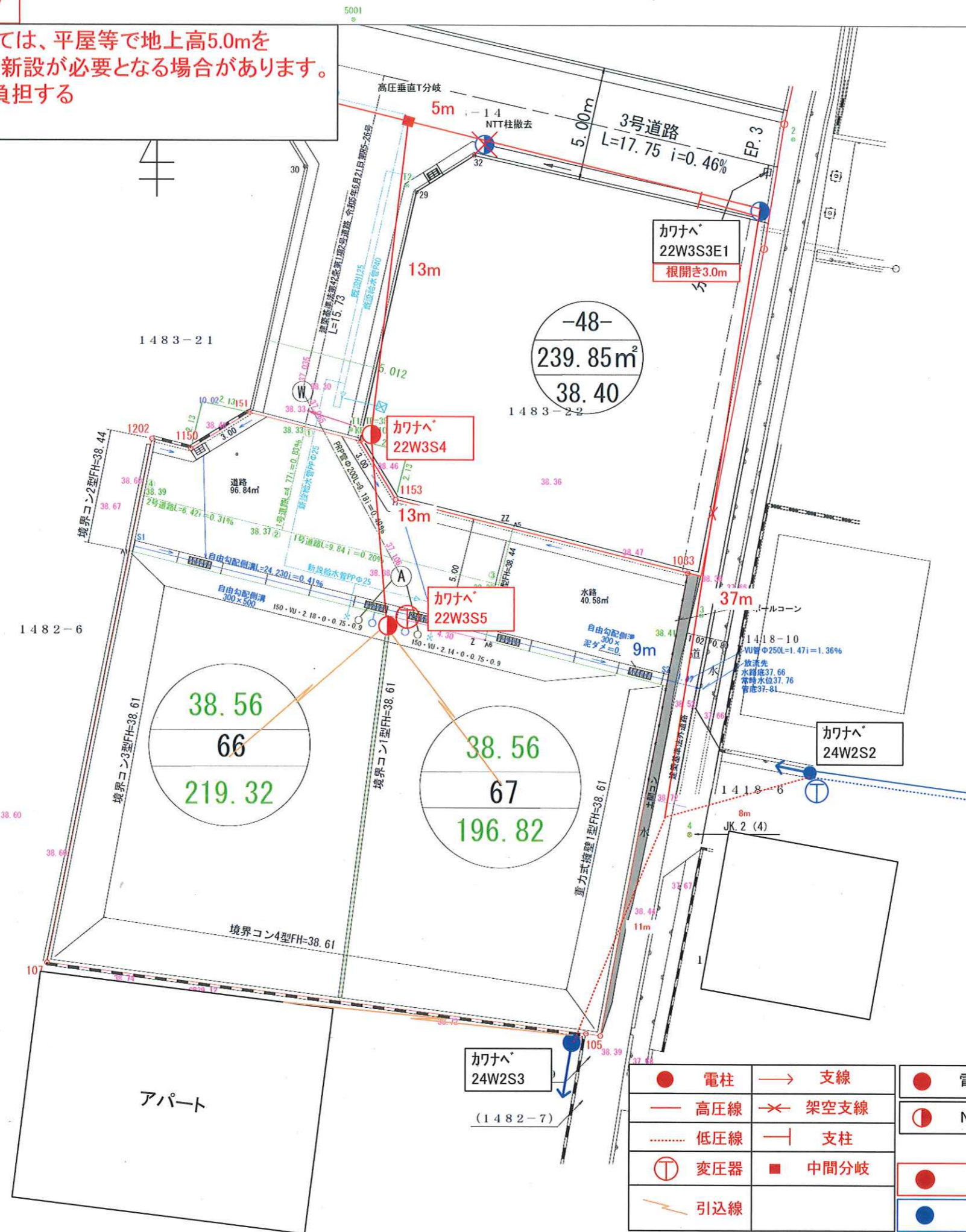
○	金属類
○	境界プレート標
○	マンホール
○	NITマンホール
○	下水マンホール
○	汚水マンホール

所在 高松市円座町字下所
図面名 造成・給水・排水計画平面図
縮尺 図中記載 図面番号 2
作成年月日 令和5年2月20日
作成者 高松市三条町278番地12 株式会社高松合同企画 土地家屋調査士・測量士 野田 明良

電柱配置図(最終)2025.11.27

※その他、引込線が道路横断となる場所については、平屋等で地上高5.0mを確保できない場合は、お客様側にて引込ポールの新設が必要となる場合があります。
 ※建柱後の電柱移設は申出者にて移設費用を負担する可能性があります。

凡 例	
	計画高
	区画番号
	面積
	流水方向
	泥だめ15cm グレーチングT14
	VU管φ150 1%以上
	L型側溝
	泥だめ15cm
	土盛り0.6m 以下、 コンクリート保護
	給水管PP20 量水器
	水道管仕切弁
	1号マンホール T-14
	PRP管φ200
	最終樹φ200 深さ1.0以下 VUφ150 i=1%以上
	土盛り0.6m 以下、 コンクリート保護
	開発区域界



	電柱		支線		電力柱
	高圧線		架空支線		NTT柱
	低圧線		支柱		新設
	変圧器		中間分岐		既設
	引込線				

整理番号	第 号
道路等の位置 指定台帳 変更廃止	
告示番号	第 号
告示年月日	令和 年 月 日
指定番号	第 号
指定年月日	令和 年 月 日
指定道路の位置	

凡 例		
方位		既存道路
下水		予定する道路の位置
へい		既に指定された道路の位置
主要出入口		(指定年月日並に番号記入のこと)
井戸		変更・廃止される道路の位置
生垣		申請する道路の位置
予定建築物(用途を記入のこと)		用水路
既存建築物(用途を記入のこと)		側溝又は街
敷地界		
地番界		
市町村界		
行政町界		
都市計画街路		

- 〈注 意〉
- ① 申請の道路の幅員および長さの単位は「メートル」(小数点以下2位まで)とすること。
 - ② 附近見取図は地籍図と方位を一致させること。
 - ③ 図面は地籍図、附近見取図、標準横断面図、縦断面図、側溝、街渠構造図を記載すること。
 - ④ 図面はこの用紙を使用し、この用紙に記入できないときはその部分を別の用紙(リコピーで複写可能な用紙)に記入してください。記入については黒インキまたは墨汁等で記入すること。
 - ⑤ 捺印欄は記入しないこと

注) マンホールとPRP管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
 本管への接続は支管接続とする。
 管内排水の土盛りは20cm以上とする。
 管交差部分は10cm以上のクリアランスを確保すること。
 管又は水路が交差する場合、クリアランスを最低10cm以上確保する。
 取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
 マンホールでの管きよ接続の削孔同士の間隔(残り代)は内面側で10cm以上確保する。
 開発協議は最終樹から一次放流先までである。
 街渠樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
 予定建築物の用途は(一戸建て住宅)とする。
 開発区域において構造物が無い前には境界線等の開発標識にて区域界の表示とする。
 本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
 申請地内の高さの表記はIP表記である。
 電柱を位置指定道路内に設置しない。
 施工前に地下埋設物の確認を行うこと。
 本位置指定に隣接して本位置指定の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合及び本位置指定の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。
 30cm未満の高低差に用いる土留め壁は、審査対象外であるので設計者の判断による。
 位置指定道路に関係のない擁壁、境界コンは審査対象外である。

図書作成者 高松市仏生山町甲2130-1
 土地家屋調査士
 宅地建物取引士 岡野上 竜二 (印)
 住所・氏名